

# 都道府県における事後活動組織の活動状況(平成21年度)

活動分類	主催者	開催日時	会場	参加人員:会員、 一般(うち外国人)	外国人	一般	事業内容
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	2月9日～15日	レッツ円山	10名程度		10人	北海道IEYOの定例事業。一般参加者を交えて国際理解を深めることを目的としている。なお、今回はアフリカ料理を作りました。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	北海道HIF	2月9日～15日	札幌市内	会員8名 一般参加者30名程度		10人	北海道での受入れにあたり、札幌市内でのプログラムを担当。ワークショップと観戦会を行いました。
他団体の交流事業への参加、協力	世界を知らう実行委員会	12月13日	北海道大学	会員5名 一般参加者30名 (うち外国人8名程度)	8人	22人	学生主催の当該イベントにて、国際交流・協力関連のNGOとともにブースを出展しました。
他団体の交流事業への参加、協力	実践交流会実行委員会	1月16～17日	独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立大重青少年交流の家	会員1名 一般参加者21名程度		21人	学生・社会人の生涯学習等にかかわる実践活動の関係者による交流会及び活動発表会。
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	6月7日(日)	エルブラザ	会員13名 一般9名(うち外国人3名)	3人	6人	会員及び在日留学生を含む一般参加者による観戦を目的として実施
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	7月11日(土)	エルブラザ	会員5名			前年度に引き続き、今年はモンゴルへ送付。事業概要としては、日本の学校で使用しなくなったリーダーを、必要とするか外国へ送付するものである。20年度の総会にて複数年(2年程度を想定)に渡り、実施することとしており今年で2年目である。
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	7月18日(土)	Let'sアカシア	会員4名 一般1名(うち外国人1名)	1人		現在中国に留学中の会員が一時帰国した際に合わせて、中国の家庭料理教室を開催
独自の交流事業	北海道青年国際交流機構	9月27日(日)	北広島	会員6名 一般6名		6人	会員及び学生を含む一般参加者による観戦を目的として実施。
他団体の交流事業への参加、協力	岩手県青少年会館 岩手県青少年育成県民会議	9月6日(日)	岩手県青少年会館	会員6名、 一般1200名		1,200人	親子ふれあい広場「観戦ヶ原まつり」への参加、協力
独自の交流事業	岩手県青年国際交流機構	10月24日(土)	岩手教育会館	会員20名、一般80名		80人	岩手県青年国際交流機構50周年を記念し「夢は生きているパワーの源」と題し、中野真衣さんによる講演会を行った。
独自の交流事業	岩手県青年国際交流機構	11月14日(土)	岩手県青少年会館	会員35名、一般7名		7人	岩手県青年国際交流機構50周年を記念し、会員による記念講演会、経過報告、記念交流会を行った。
独自の交流事業	岩手県青年国際交流機構	平成22年 3月13日(日)	いわて県民情報交流センター	会員2名			県内在住の外国人3名をスピーカークラウドに招き、それぞれの国の紹介、生活様式の違いや日本で暮らす印象など生の声を聞き、お互いの語り合うことにより、相互交流により理解と友好の促進を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	宮城県青年会議	4月25日	宮城県青年会館	会員2名			宮城IEYOが加盟している青年団体連絡会の総会に参加した。
他団体の交流事業への参加、協力	地球フェスタ実行委員会	9月19日	仙台市国際センター	会員7名 一般多数 外国人1名	1人	多数	県内最大の国際交流イベントに初参加した。ブース出展し、広く内閣府国際交流事業や宮城IEYOの活動をPRした。
他団体の交流事業への参加、協力	宮城県青年会議	9月26日	宮城県青年会館	会員2名			県内の青年団体の連絡協議会でもある宮城青年会議の理事会に参加し、他団体との情報交換を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	青少年のための宮城県民会議	9月30日	岩沼市車岩沼中学校	会員1名			「少年の主張」の審査員として、協力した。
その他 (国際理解講座)	福島県北地区JRC部会	8月4日(火)	福島県青少年会館 (福島市)	会員1名、一般30名		30人	福島県北地区JRC研修で、国際理解のためのワークショップ「船の中の大事件」を船つばサポーターの中野先生(福島市立清明小学校)と菅野が実施。活発に話し合いが行われ、ロールプレイのまま発表があったり大変盛り上がりがあった。一人一人の気づきがあり、実際の生活にいかす意見が目立ち、レベルの高いワークショップになった。
その他 (国際理解講座)	全国開発教育研究集会	8月8日(土) ～9日8月(日)	第27回開発教育全国研修集会・仙台大会	会員1名、一般15名		15人	第27回開発教育全国研修集会・仙台大会の自主ラウンドで船つばサポーターの中野先生と菅野が「船の中の大事件」を実施。意識の高い人が多く、短い時間の中でも積極的な意見交換ができた。
他団体の交流事業への参加	財団法人福島県青少年会館、 福島県青少年団体連絡協議会	11月7日(土)、8日(日)	福島県青少年会館 (福島市)	スタッフ:会員5名、 学生サポーター2名 来場者:1,000名		1,002人	「外国文化おもしろ館」として、世界の民俗楽器や民俗衣装を体感できるブースを出展。来場者から内閣府の事業の説明、船と翼の会ふくしまの事業の紹介、ゲストスピーカーの登壇があった。
他団体の交流事業への参加	ふくしま国際理解教育ネットワーク (福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA二本松、ふくしま海外協力隊の会)	12月12日(土) ～13日(日)	JICA二本松訓練所(二本松市)	会員2名、講座参加者30名		30人	分科別の講座で、フアンタゲとして講座を担当。平成20年度「世界青年の船」参加者の帰国報告を基に作ったアジアワークショップ「地球幸福度指数」世界一へのアジアの幸せの「現在と未来」を实践。相手の立場に立った援助、国際協力のあり方を考えた。
他団体の交流事業への参加	ふくしま国際理解教育ネットワーク (福島県、福島県教育委員会、(財)福島県国際交流協会、JICA二本松、ふくしま海外協力隊の会)	12月12日(土) ～13日(日)	JICA二本松訓練所(二本松市)	会員3名、全体参加者180名		180人	自主セッションで、当会及び内閣府の事業を紹介するブースを出展。意識の高い参加者たちに会PR及び次年度以降の派遣事業への参加者を募った。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	4月19日(日)	蓬萊学習センター (福島市)	会員7名、 一般:21名(うち外国人11名)		11人	「蓬萊日本語教室」と「NPO法人ふくまねっと」の協力のもと、日本語教室に通う中国出身の皆さんには餃子を、日本にインターンシップで来日している韓国ペクソク文化大学の学生さんたちにはトッポキを教えるもった。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	7月5日(日)	郡山市勤労青少年ホーム(ユース フル郡山) (郡山市)	会員4名、 一般19名(うち外国人1名)		1人	本物のイスラム料理を作り、味わうことを通じて、イスラム文化に対する興味と理解を深める。講師はJICA二本松のアラビア語講師サフン氏(シリア出身)であった。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	9月13日 (日)	オオクラボル 観光梨園、 吉川屋 (福島市)	会員6名 一般11名(うち外国人7名)		7人	韓国入大学生が5人、日本人大学生2人、高校生が2人など、フレッシュなメンバーがそぞろい、ボーリング、梨狩り、足湯とスポーツの秋、ふくしまの秋を楽しみ、交流した。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	12月9日(水) ～13日(日)	白河市、福島大学、こぶし荘(福島市高湯温泉)、福島市立清明小学校、仙林寺(伊達市)、ふくしまテルが(福島市)、いわき市(ホームステイ)	会員9名、一般16名、小学生、 教員、保護者60名、 ASSEAY Thailand5名	5人	76人	船と翼の会ふくしまとASSEAY Thailandとの相互交流プログラム。テーマは「異文化理解」。今後、日本とタイ両国の友好親善をますます発展させるために。互いの違いや共通点を知り理解しあうことが大切であると考え、今回は、広く一般的に互いの文化、習慣、価値観を知りたいことを目標に交流した。白河市長を迎えての歓迎会、福島大学の学生とホームステイ、異文化理解ワークショップを実施。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま	平成22年 2月21日(日)	福島市杉妻学習センター (福島市)	定員:30名		30人	子どもたちの学校生活、家族、友達、自分たちがいかに意外と知らないフリップの素顔を紹介してもらい、フリップの暖かいおやつを作る。メニューは「ギョウザとドリア」と「トロン」。
独自の交流事業	船と翼の会ふくしま ASSEAY Thailand	通年	福島県内及びタイ国内	-			福島県内のNGO「明るい社会づくり運動協議会」「ふくしま地球市民ネットワーク」や県内の小学校の協力のもと、使い終わった小学1年生の黄色い帽子を回収し、タイの小学生に贈呈する事業、東亜船の出発式でAsseay Thailandのメンバーに帽子を贈呈し、
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	船と翼の会ふくしま	10月12日(月)、 10月25日(日)	福島県青少年会館 (福島市)、 郡山市労働福祉会館(郡山市)	会員13名、一般13名		13人	「東南アジア青年の船」地方プログラム受入れのための実行委員会開催。プログラムで訪問する県立あさか開成高校の生徒9人が実行委員として、教員2人がオブザーバーとして実行委員会に参加。
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	船と翼の会ふくしま	10月6日(火)、 10月20日(火)	福島県立 あさか開成高校 (郡山市)	会員2名、一般50名		50人	「東南アジア青年の船」地方プログラムで訪問する高校の生徒たちに、事業を理解してもらい当日効果的な交流ができるように、事前研修を実施した。アイスブレイキング、国際理解ワークショップ、東南アジアについての説明、内閣府の事業の説明、「東南アジア青年の船」事業地方プログラムの内容についての説明ほか。
内閣府の青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ 国際交流事業実行委員会	船と翼の会ふくしま	10月29日(木) ～11月1日(日)	福島市、福島県立あさか開成高校 (郡山市)、郡山市及び周辺市町村	会員13名、一般100名		100人	日本・アセアン青年交流プログラム(県知事表敬訪問、歓迎会、日本文化体験宿泊、高校訪問、ホームステイ)
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年国際交流機構	12月12日(土)	水戸市 茨城県立青少年会館	会員5名			茨城IEYO開催の国際交流事業開催のために実行委員会を開催した。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	5月31日(日)	水戸市 茨城県青少年会館	会員4名 一般30名		30人	茨城県青年団体連盟の総会に出席し、昨年度活動報告と決算、今年度予定や予算を審議。
他団体の交流事業への参加、協力	実行委員会	8月30日(日)	筑西市	会員8名			茨城県筑西市で開催された「どすこいベア(地域の祭り)」に参加し、茨城IEYOの活動のPRを実施した。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	4月～9月	水戸市 茨城県青少年会館	会員2名 一般12名		12人	茨城県青年団体連盟の理事会に出席した。4月～9月で5回開催。
他団体の交流事業への参加、協力	平成21年度茨城県若者塾事業実行委員会	5月～9月	水戸市 茨城県青少年会館	会員1名 一般8名		8人	平成20年度茨城県若者塾事業 一部実行委員会に出席した。5月から9月の間、隔週で開催。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	平成22年 1月16日(土)	水戸市 茨城県立青少年会館	会員3名 一般約30名		30人	茨城県の青少年団体が一堂に会す、質疑交換会を開催した。同時に、写真展を開催した。
他団体の交流事業への参加、協力	平成21年度茨城県若者塾事業実行委員会	平成22年 3月7日(日)	水戸市 茨城県立青少年会館	-			茨城県若者塾事業の第3回研修に参加協力した。
他団体の交流事業への参加、協力	茨城県青年団体連盟	10月 ～平成22年3月	水戸市 茨城県青少年会館	会員2名 一般14名		14人	茨城県青年団体連盟の理事会に出席。10月～3月の間に4回開催した。

他団体へ交流事業への参加、協力	財団法人栃木県青年会館	5月28日(木)	栃木県青年会館 コンセーレ	会員2名			県内他団体との親睦を深めるための交流会に参加した。
独自の交流事業	栃木県青年国際交流機構	7月10日(日)	とちぎ青少年センター	会員6名			活動内容・活動計画等に対する協議を行った。
独自の交流事業	栃木県青年国際交流機構	10月8日(木) 平成22年	栃木県青少年センター				活動内容・活動計画等に対する協議を行った。
独自の交流事業	栃木県青年国際交流機構	3月12日(金)	栃木県青少年センター				活動内容・活動計画等に対する協議を行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	平成22年 1月14日(木) ～17日(日)	栃木県公館、県立博物館、ありんこ保育園、コンセーレ、宇都宮グラン ドホテル等				「世界青年の船」地方プログラム受入れにて、栃木県庁表敬訪問、博物館見学、保育園への訪問、地元元青年との交流ディスカッション、歓迎レセプション及び2泊3日のホームステイを行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	栃木県青年国際交流機構	平成22年 2月3日(水)	栃木県青少年センター				「世界青年の船」地方プログラム受入れに対する反省を行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 日本青年国際交流機構 (財)青少年国際交流推進センター 栃木県青年国際交流機構	10月3日(土) ～4日(日)	東急ハーヴェストクラブ鬼怒川				関東ブロック大会を栃木県日光市の鬼怒川温泉にて開催。基調講演、小グループでのディスカッション・意見交換、懇親会、帰国報告会等を通して、他県の会員との交流を深めた。
広報、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	埼玉県青年国際交流機構	平成22年 12月23日	埼玉県県民活動総合センター	会員9名、一般29名		29人	シャクティという映画の上映と監督による講演。この映画とかがわったきっかけとして「世界青年の船」及び内閣府青年国際交流事業へのPR活動も実施。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	6月23日(火) 18:30-19:30	浦和地方庁舎別館	会員1名			埼玉県内にある青少年団体で構成する協議会。 前年度事業報告、決算報告、役員改選、今年度事業計画、予算について青少年分野の代表として総務部青少年課より推薦を受け、運営協議会委員を委嘱。他の委員と共に事業計画等について話し合った。
他団体の交流事業への参加、協力	財団法人いきいき埼玉	7月31日	県民活動総合センター(伊奈町)	会員1名			関東ブロック大会。来年の全国大会のPRも行った。
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	10月14日	浦和地方庁舎別館	会員1名			埼玉県内にある青少年団体で構成する協議会。研修会について打ち合わせ。各団体、青少年課からの活動紹介・各種案内
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	1月27日 18:30-	浦和地方庁舎別館	会員1名			埼玉県内にある青少年団体で構成する協議会。研修会について最終打ち合わせ。各団体、青少年課からの活動紹介・各種案内
他団体の交流事業への参加、協力	埼玉県青少年団体連絡協議会	2月6日 17:30-	浦和ワシントンホテル	会員4名			研修会及び交流会。12団体からの活動紹介あり。
独自の交流事業	埼玉県青年国際交流機構	平成22年 3月13日	大宮ゆの郷				同じ埼玉県内に住む外国人、IYEOメンバーとその仲間たちが学生時代に買った気分になって、交流を深めた。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	(財)埼玉県国際交流協会	10月31日～11月1日	さいたま新都心けやき広場	会員9名			「グローバルフロンテス」写真(パネル)展示、事業説明。第21回生涯学習フェスティバル「まなびアワード2009」と連動して実施。
国際交流料理会	千葉県青年国際交流機構	平成22年 1月30日	船橋市中央公民館	会員15名 一般7名 (外国人青年6名)	6人	1人	会員と外国人青年の交流の場を設けるために料理会を開催した。当日は韓国料理3品ほど作り、作りながらみで交流を行った。
広報 独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	10月31日	女性と仕事の未来館	会員60名 一般80名		80人	NPO法人TABLE FOR TWO事務局長・小暮真久さんを迎えて講演会を開催。最初に内閣府青年国際交流事業の紹介(事業概要説明と3名から帰国報告)。その後講演会を、①小暮さんからのTFTの活動紹介と今後の展開についてのプレゼン、②司会の橋本さん(SWY2)とのインタビュー、③質疑応答の3部形式で行った。小暮さんのOTFTに対する熱い「想い」を伺う中で共感する参加者が多く、当日で販売した著書『20年』で世界をつなぐ仕事「想い」と「頭脳」で稼ぐ社会起業・実戦ガイド』は完売、非常に皆の心に響く講演会で、IYEOとしても内閣府事業を多くの一般の方に紹介する良い機会となった。
広報 独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	平成22年 2月6日(土)	日米会話学院	会員42名 一般29名		1人	各業界で活躍中の会員6名をプレゼンターとして招き、企業や業界の説明、内閣府青年国際交流事業が現在の自分に与えた影響等を語ってもらった。前半は一人10分ずつのプレゼンテーション。後半は業界ごとに分かれて質疑応答をした。JICAに就職希望エントリー登録している学生が多く集まり、内閣府事業のよい広報の場となった。
独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	7月4日	パクチャーハウス東京	会員10名 一般1名		1人	国際開発教育ファシリテーターの三田景子さん(SWY12)をお迎えして「ラオス国際協力の現場を語る」を開催。ラオスで青年海外協力隊員として現地の人々と奮闘して作り上げた母子保健改善プロジェクトの話をうかがい、また協働体験体験身もワークショップをした。
独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	8月29日	日米会話学院	会員16名 一般6名(うち外国人2名)	2人	4人	会員のための英語ディスカッション講座。講師の深作光輝さん(SWY18.21)によるアイスブレイクの後、「異文化理解」をテーマにディスカッション。最初に話す内容を整理する練習のため日本語で、次に英語で行った。参加者からは「日本語で理解していないと英語では話せない。簡単なことだけれど、大事なことを学んだ」「いろんなバックグラウンド、経験をした人と話ができてもおもしろかった」と好評だった。幅広い年代の既参加青年の参加があり、事業に臨む人に向けたファンが英語ディスカッション講座第2回目のテーマは「家族」。講師は、Demon Irvineさん(第11回・第17回(NL)世界船)と本田温子さん(第11回世界船)。まずはアイスブレイクで部屋の4隅に食べ物や動物等自分の好きなもののグループに分かれてWarm Upならびに英語に慣れる練習、その後テーマである家族について参加者それぞれが家族(家庭)での役割や家族から教わったこと、影響を受けたことについて意見交換した。身近なテーマで話しやすく、相手の価値観や考え方を知ることができ有意義な時間だった。
独自の交流事業	東京都青年国際交流事業	10月17日	日米会話学院	会員35名 一般7名(うち外国人2名)	2人	5人	第3回目のテーマは「Win×2チーム」。講師はChew Kim Soonさん(第26回東ア船と齋藤珠恵さん(第10回世界船)と)。まずはアイスブレイクで自己紹介。場和んでから夫婦である講師の二人の実体験に基づいて、ディスカッション。また、自分が大切にしているものとして、家族、職場・学校、友人、国際交流事業の4グループに分かれ、その仲間とまわってこれにはどうしたらいいかを話した。最終回にふさわしい内容で参加者間の価値観の違いを認識することができ、正解がないテーマについて多くの人と意見交換ができた。
参加希望者への支援、独自の交流事業、広報	神奈川県青年国際交流機構	4月5日(日)	かたばみ会教室・鎌倉市内	会員5名、 一般10名(うち他県受検者1名)		10人	地元鎌倉の方が主宰する着付教室にて、会員が主宰するキモノをさくする華会協力のもと着付講習し、内閣府事業や当機構の宣伝活動を行い、その後鶴岡八幡宮始め桜の名所等、当機構外部から賛助会員にお迎えした水田氏によるボランティア撮影会を行い、参加者には後日画像データをCDR化して送付した。また、集合写真撮影には必ず当機構の旗を広げて撮影を行い、周囲の方々に向け積極的に宣伝活動を行った。
参加希望者への支援、及び独自の国際交流事業、広報	神奈川県青年国際交流機構	6月28日(日)	横浜市青少年交流センター	会員12名 一般17名(うち外国人12名、 今年度参加予定者2名)		12人	企画段階では、今年度参加予定者向けであったが、昨年度来お世話になっている『横浜YMC&Aさんからの以前よりのご要望に鑑み、リサイクル着物チェーン店「たんす屋」さんのご協力を仰ぎ相当数のレンタル浴衣を調達できたので、まず参加者全員に浴衣を着付け、そのまま一服頂いた後、自分でお点前する体験及び折り紙交流を行い、日本伝統文化の一端に触れてもらった。
参加希望者への支援、独自の交流事業、広報	神奈川県青年国際交流機構	8月8日(土)	鎌倉生涯学習センター	会員4名 今年度内定者2名 一般9名		1人	別団体着物企画参加時の協力団体である、シテ方室生流宗家:宝生和英氏率いる能楽普及プロジェクトチーム【和の会】メンバー協力の下、本物の能楽師をお招きして、舞台上で使用する本物の能楽や装束をご持参いただき、当日参加者1名をモデルに立って、能楽師2名による着付実演を行いながら、装束の意味・由来・使い方を、能に纏わるお話をお伺いし、伝統文化の見聞を広げる企画となった。
参加希望者への支援、独自の交流事業、広報	神奈川県青年国際交流機構	8月30日(日)	鎌倉生涯学習センター	会員5名 一般1名		1人	地元鎌倉で顔なじみの、人力車運営会社「東京力車鎌倉店」協力の下、女性車夫と(車夫兼任の)店長を講師としてお招きし、歴史・乗客・車夫に合った理由などをお話いただき、「心に残るエピソードや苦勞話」などの質疑応答を行った後、提供して頂いた指定場所内を往復する「ミニ乗車体験」を行い、奥く真似事もできるなど、伝統文化の一端に触れる企画となった。
参加希望者への支援、独自の交流事業、広報	神奈川県青年国際交流機構	8月30日(日)	鎌倉生涯学習センター	会員10名 今年度内定者1名 一般13名		14人	(世界船既参加青年の)女性講師神田京子さんをお招きし、地元鎌倉の一般参加者のための王道の講義をはじめ、国際交流経験者向けの英訳版講義の触り、今年度世界船参加予定者の期待をこめた叱咤激励や船内活動のヒントなど多種多様な話を頂き、航点おみやげとそのタイミング練習のワークショップなどで、伝統文化を感じながら企画となった。
他団体の交流事業への参加協力、及び広報	(財)川崎市国際交流協会、民間交流団体連絡協議会(、神奈川IYEO)	7月5日(日)	川崎市国際交流センター	推計2,800名以上 (根拠:主催者発表来場者数14,000名X20%以上)		2,800人	4月開催の帰国報告写真展示物を更に有効活用することを検討するなか、ここ10年来積極的な活動を行っている川崎市市内での活動・広報拠点を確保するため、川崎市国際交流センターにて外国人も参加して開催される『2009インターナショナル・フェスティバルinカワサキ』に展示参加を行った。同時に年報、各事業報告書冊子や活動記録アルバム等の閲覧により、同事業の広報宣伝を視覚的に捉えて行った。
事業報告会及び説明会、独自の国際交流、事業内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	富山県青年国際交流機構	平成22年 2月27日(日) 13:30-15:30	富山国際交流センター会議室(CIC3F)				平成22年度事業説明・コーディネーター育成プログラム帰国報告及び世界船の受け入れ報告(DVD交換)、テーマパーティを開催
事業報告会及び説明会、独自の国際交流事業、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	富山県青年国際交流機構	平成22年 3月21日(日) 10:00-15:00	富山県民会館				「世界青年の船」の帰国報告及び平成22年度事業説明会、「世界青年の船」受入れ時のホストファミリー同志の情報交換。料理交流会では富山在住の外国人の方々を招き料理をしながら交流した。
広報、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動、他団体の交流事業への参加、協力	国際交流フェスティバル2009 in Toyama 実行委員会	11月7日(土) ～8日(日)	富山国際交流センター&GICビル				国際交流フェスティバルにてブースを出展し活動・事業紹介、ホストファミリーの募集を行った。
独自の国際交流事業、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	富山県青年国際交流機構	12月20日(日)	富山国際交流センター会議室(CIC3F)	17名			「世界青年の船」受入れに際し、茨城在住で、世界船OBでもあるアハド・ブチヤンさんにきていただき、バーレーンについてお話をいただいた。(対象:ホストファミリー及び一般)

独自の国際交流事業、内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	富山県青年国際交流機構	12月26日(土)	CIC4F	27名			「世界青年の船」受入れに際し、富山在住のニルカ氏にきていただき、スリランカについてお話していただいた。
参加希望者への支援	石川県青年国際交流機構	4月19日 13:00-	リファール	会員9名 派遣希望者4名		4人	派遣希望者へのアドバイス
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	石川県青年国際交流機構	10月29日 ～11月1日					「東南アジア青年の船」事業の地方プログラム受け入れ
国際協力事業への参加	愛連協	6月21日	青少年センター	1名			所属している県内の青少年団体総会へ出席した。
国際協力事業への参加	青少年団体連絡協議会	5月30日	青少年センター	2名			所属している県内の青少年団体総会へ出席した。
国際協力事業への参加	青少年団体連絡協議会	9月26日	小瀬スポーツ公園	1名			所属している県内の青少年団体と協働し、いきいきねりんピックにて出展をした。
国際交流事業への参加	山梨県IYEO	11月	小瀬スポーツ公園	1名			他団体とともに模擬店協力した。
内閣府事業地方プログラム受入れ	山梨県IYEO	平成22年 1月14日～17日	ボランティアセンター他	65名			地方プログラム受入れに伴い、「環境」をテーマに企業視察、地元青年との交流、ディスカッション等を行った。また、幼稚園児との交流の機会も設けた。
独自の交流事業	長野県青年国際交流機構	平成22年 1月23日(土)	長野市ふれあい福祉センター	15名 会員3名 一般12名(外国人2名)			県国際交流員を講師に、中華料理を教えてもらい、中国の理解を深める交流会を企画した。
独自の交流事業	長野県青年国際交流機構	平成22年 2月6日(土)	長野市ふれあい福祉センター	28名 会員7名 一般21名(外国人5名)		5人	16人 県の国際交流員を講師に、韓国料理を教えてもらい、韓国の理解を深める交流会を企画した。
独自の交流事業	長野県青年国際交流機構	平成22年 3月6日(土)	長野市ふれあい福祉センター	定員20名			市の国際交流員(IYEO会員でもある)を講師に、アメリカ料理を教えてもらい、アメリカの理解を深める交流会を企画した。
独自の交流事業	長野県青年国際交流機構	平成22年 3月22日(月)	長野市 モリヤホール	定員30名			今年行われるサッカーワールドカップの開催国南アフリカ共和国について、学習するイベントを企画した。また、内閣府青年国際交流事業の募集説明も同時開催した。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	韓国受け入れ実行委員会	9月9日(水)	長野市ももんざら座国際交流コーナー	8名 (内外国人3名)		3人	5人 日本・韓国青年親善交流事業長野プログラムの第一回実行委員会を行い、受入れの趣旨などを認識し、全体プログラム構成、担当などを話し合った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	韓国受け入れ実行委員会	9月22日(火)	戸隠 そば打ち道場とんくるりん、奥社、忍者村	8名 (内外国人4名)		4人	4人 韓国留学生および、県の国際交流員などが参加し、韓国受入れの準備のため、視察を行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	韓国青年受入れ実行委員会	11月8日(日) 11日(水)～14(土)	長野県内	会員23名 一般6名(外国人5名)			1人 県国際交流員、信州大学留学生などの協力のもと、韓国の青年の受け入れを行った。参加者に初日新型インフルエンザの発症し、内容は大幅に変更することとなったが、実行委員会の意向が認められ、できがかりの青年との交流は行うことができた。
他団体の交流事業への参加、協力	長野県青年国際交流機構	5月2(土)～4日(月)	長野市トイゴ広場	12名			まちづくりの一環として行われている、長野市の花回廊実行委員会主催チューリップの花びらで飾る花キャンパスにチームで参加した。デザインはマレーシアに在住の元留学生に頼み、メールにて受発した。テーマは「善の光」
他団体の交流事業への参加、協力	長野市国際室	7月18日(土)	長野市ももんざら座国際交流コーナー	4名			韓国出身の講師が母国語で韓国の紹介する講座に参加。今年度韓国青年受入れのため、実行委員長および会員が文化や教育、歴史、服装などの学習会に参加した。
他団体の交流事業への参加、協力	小布施町小布施見まらソン実行委員会	7月19日(日)	小布施町	3名			小布施のハーフマラソンに会員が長野IYEOチームとして参加した。
他団体の交流事業への参加、協力	ながのびんずる祭り実行委員会	8月1日(土)	長野市中央通り	4名			外国籍の人や国際交流団体が登録する「国際連」に入り、会員が一緒に踊り、長野IYEOをPRした。
他団体の交流事業への参加、協力	JICA (長野県IYEOは協力団体)	平成22年 2月21日(日)	長野市生涯学習センター	定員40名			アフガニスタン支援に携わる方々のお話を伺い、情報交換することにより、文化・生活を含めた「アフガニスタ」の現状について理解し、今、国際社会の中で、我々には何が出来るのかを考える機会とする。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	岐阜県青年国際交流機構	8月12日(土) ～13日(日)	多治見市	25名			東海ブロック大会本番
他団体の交流事業への参加、協力	内閣府、日本青年国際交流機構、(財)青少年国際交流推進センター、広島県青年国際交流機構	12月3日～5日	広島県	2名(岐阜会員)			全国大会への参加
他団体の交流事業への参加、協力	愛知県青年国際交流機構	12月26日(土)	名古屋市中	3名(岐阜会員)			IYEO告知主催の忘年会への参加 フットサルによるチャリティーイベントを開催すべく、実行委員会を発足し、友人知人、地域外国人を誘って交流を深め、またチームを結成し、他団体との試合を通してIYEOと内閣府国際交流事業の広報を行いました。
広報・独自の交流活動・会員親睦	愛知県青年国際交流機構	3月21日	ロコソケットサルパーク 尾張旭	25名(1名)		1人	24人 フットサルによるチャリティーイベントを開催すべく、実行委員会を発足し、友人知人、地域外国人を誘って交流を深め、またチームを結成し、他団体との試合を通してIYEOと内閣府国際交流事業の広報を行いました。
広報・独自の交流活動・会員親睦	愛知県青年国際交流機構	4月17日	矢田川河川敷	16名			16人 フットサルによるチャリティーイベントを開催すべく、実行委員会を発足し、友人知人、地域外国人を誘って交流を深め、またチームを結成し、他団体との試合を通してIYEOと内閣府国際交流事業の広報を行いました。
広報・独自の交流活動・会員親睦	愛知県青年国際交流機構	5月17日	三重県桑名市 輪中ドーム	28名(1名)		1人	27人 フットサルによるチャリティーイベントを開催すべく、実行委員会を発足し、友人知人、地域外国人を誘って交流を深め、またチームを結成し、他団体との試合を通してIYEOと内閣府国際交流事業の広報を行いました。
広報・独自の交流活動・会員親睦	愛知県青年国際交流機構	6月28日	岐阜県羽島市 羽島市民会館	27名(1名)		1人	26人 フットサルによるチャリティーイベントを開催すべく、実行委員会を発足し、友人知人、地域外国人を誘って交流を深め、またチームを結成し、他団体との試合を通してIYEOと内閣府国際交流事業の広報を行いました。
広報 内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動 他団体の交流事業への参加、協力 他団体の交流事業への参加、協力 他団体の交流事業への参加、協力 他団体の交流事業への参加、協力	ワールド・コラボ・フェスタ実行委員会 愛知県青年国際交流機構 (財)アジア保健研修所 愛知県青年国際交流機構	10月24日～25日 10月9日～10日 10月12日 平成21年10月24日～26日	栄:もちの木広場、オアシス21 ウィル愛知 (財)アジア保健研修所 栄:もちの木広場、オアシス22	78000名(12名) 1500名(3名) 1000名(4名) 78000名(13名)		12人 3人 4人 13人	12人 3人 4人 13人 広く国際交流活動を広報するため、飲食ブース、事業説明ブースを出店しました。 難民について広報すべく、映画やシンポジウムを行いました。 広く国際交流活動を広報するため、飲食ブースを出店しました。 広く国際交流活動を広報するため、飲食ブース、事業説明ブースを出店しました。
独自の交流事業	愛知県青年国際交流機構	12月26日(土)	法照寺	23名(3名)		3人	会員間の親睦を図った。
参加希望者への支援	三重県青年国際交流機構	4月25日(土)	四日市市総合会館	会員5名 受験者6名			5人 平成21年度内閣府国際交流事業参加希望者の中で三重県での選考合格者に対し、東京での受験に当たってのアドバイスを行うと共に、事業についてさらに理解を含めてもらう研修を行った。
広報及び独自の交流事業	寺西 由佳	9月22日	草津市ロウハ公園	6名			グローバルフォトをブースに展示し、国旗クッキーやイタリアのピードゥーラースープ、タイのグリーンカレーを作り、事業をアピールした。
実行委員会	滋賀県青年国際交流機構	8月26日～随時	草津市まちづくりセンター他 県内各所	約10名			8/26～2週間1回程度のペースにて実施。
他団体の交流事業への参加・協力	祇園祭山鉾巡行曳き手ボランティア 実行委員会	7月14日(火)～17日(金)	岩戸山町 (京都市下京区新町通仏光寺下がる)ほか	会員10名 一般22名			22人 祇園祭の山鉾(今年は油天神山を担当)を曳く貴重な体験のほか、女性参加者による岩戸山鉾町の販売、山鉾巡行中の冷茶サービスも行われ、京都の伝統文化を享受する機会に恵まれた。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	京都府青年国際交流機構	平成22年3月21日(日) ～31日(木)	京都府国際センター	会員3名			各事業の派遣者撮影による写真やパネル等で展示、一般に公開することや、愛知IYEOの活動の認知、並びに内閣府国際交流事業の広報を大阪外国青年連絡会と共に行い、民族楽器等で音楽交流を実施し、各国の伝統音楽を紹介、演奏する。
独自の交流事業	大阪府青年国際交流機構	11月7日	Captain kangaroo 大阪市北区	20名			内閣府国際青年育成交流招へい 受入れ実行委員会 インターコミュニケーション大阪 以降複数回開催 大阪府庁他
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	大阪府青年国際交流機構	平成22年 2月5日	大阪府庁				内閣府国際青年育成交流招へい 平成22年3月12日の事業説明会チラシ2000枚を作成、府下関係機関に配布
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	関西国際空港株式会社	平成22年 3月27日(土) ～28日(日)	関西空港	28,000名			旅博にてブース出展、グローバルフォトコンテストパネル展示及び事業PRを行う
他団体の交流事業への参加、協力	シルクロード財団	平成22年2月27日	奈良県文化会館	25名			シルクロード財団に加盟している県内国際交流団体との情報交換会
他団体の交流事業への参加、協力の他	なら燈花会実行委員会	8月14日	奈良公園一帯	5名			奈良の恒例行事である、なら燈花会でIYEOをPRするために当日運営スタッフとして参加した。
他団体の交流事業への参加、協力の他	シルク財団	8月26日	NIFS 会議室	25名			シルクロード財団に加盟している国際交流団体の代表者による意見交換会に参加した。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	11月11日～12日	奈良市	50名 うち一般8名			日本・韓国親善青年交流の地方受入れプログラムを行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	奈良県青年国際交流機構	平成21年 11月11日～13日	奈良市 信貴山	50名			平成21年度日韓親善青年交流の地方受け入れプログラムを行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 日本青年国際交流機構 (財)青少年国際交流推進センター 奈良県青年国際交流機構	平成22年 1月30日～31日	橿原観光ホテル	50名 うち一般3名		3人	近畿ブロック大会を開催し、講演・分科会・帰国報告会を行った。
広報 他団体の交流事業への参加、協力	和歌山県人権啓発センター	11月21日(土) ～22日(日)	和歌山市和歌山ビッグホエール	11名			和歌山県内のNPO団体のブース展示・販売、海友会活動の紹介のため参加。内閣府事業・オーストラリア交流事業の写真展示
他団体の交流事業への参加、協力	和歌山市	8月1日(土)～2日(日)	和歌山市(和歌山城周辺、和歌山駅等)	48名			和歌山を元気にする地域活動に賛同し、海友会danceteam楽舞和(らふわ)として、海友会の活動紹介のため参加する。
他団体の交流事業への参加、協力	弁慶まつり実行委員会	10月3日(土)	田辺市	35名			和歌山を元気にする地域活動に賛同し、海友会danceteam楽舞和(らふわ)として、海友会の活動紹介のため参加。
東南アジア青年の船の地方プログラム受入れ	海友会(那賀ブロック)	10月29日(木) ～11月11日(日)	和歌山県内	26名			「東南アジア青年の船」事業で外国青年の受入をおこなった。

独自の国際交流事業	海友会	8月4日(火)～17日(月)	和歌山県各地域	40名			コリアーダ育成事業派遣・受入をきっかけにオーストラリア・日本青年交流事業を独自に計画。今年度はオーストラリアから10名の青年を招へし、し観光、視察、討議、ホームステイ事業をおこなった。
独自の国際交流事業	海友会	8月9日(日)	和歌山ビッグ愛8F 青少年活動センター	50名			オーストラリア青年たちが、楽しくオーストラリアの国や文化を紹介。一般の参加者への広報により海友会活動もPR。
独自の国際交流事業	海友会	6月21日(日)	和歌山ビッグ愛8F青少年活動センター	80名			和歌山ビッグ愛8Fにて坂本 達さん講演会開催をおこなう。講演会にて国際活動への興味を持ってもらうとともに、海友会の活動PRをおこなう。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	海友会	7月14日(火)-18日(土)	岩出市	68名			国際青年育成交流事業で外国人青年(カンボジア・ラトビア)と日本参加者(県内外から参加)との合宿型のディスカッションプログラムをおこなった。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	とっとり青友会	10月～11月中旬	鳥取市内	各回10名の参加 4回実施			内閣府「日本・中国青年親善交流」事業の受け入れ実行委員会を開き、訪問先やホームステイについて確認をした。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	内閣府	11月19日～23日	鳥取市内	約100名 (中国青年29人)			内閣府「日本・中国青年親善交流」事業を鳥取市内で受け入れ・ホームステイを行った
他団体の交流事業への参加、協力	とっとり青友会	8月上旬～中旬	鳥取市国際交流プラザ	会員10名			JICA青年研修事業受入れの実行委員会を行った。プログラムやホームステイ受入れ家族等との連絡調整を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	JICA とっとり青友会	8月20日～9月3日	鳥取市を中心	受け入れ中国青年25名 その他スタッフ等10名			JICAの青年研修事業で中国青年の初等中等教育行政分野を受入れし、県内の教育関係機関を訪問したり、小中学校では児童生徒との交流を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	JICA国際協力機構	平成22年10月19日	JICA本部(東京)	2名			理事長表彰受賞。緒方理事長をはじめ、他団体の関係者とも会談し、今後の国際協力のあり方を話し合った。
他団体の交流事業への参加、協力	鳥取県青少年育成県民会議、鳥取県教育委員会	11月中旬	県内各地・各駅	2回参加(それぞれ2名)			鳥取県教育委員会が実施した高校生の公共機関でのマナーアップキャンペーンに参加し、駅等で街灯指導に立ち会った。
他団体の交流事業への参加、協力 参加希望者への支援	とっとり青友会 国際ネットワークしまね	平成22年12月23日 5月6日	倉吉市内 くびきメッセ	5名 一般			募金の全国統一行動日に他団体と協力して実施した。 内閣府派遣事業全国選考に向けた事前研修会を実施した。
独自の交流事業	松江市国際交流協会との共催	10月17日(土)、 10月18日(日)	松江市交際交流会館	90名(うち外国人70名)	70人	20人	留学生支援のため、不要品を集めて格安で販売を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	松江市国際交流協会	4月26日	国際交流会館	一般(外国人100名程度)		100人	留学生の支援を目的として「留学生のためのふれあいフリーマーケット」を実施した。
参加希望者への支援及び事業報告会	岡山青年国際交流会	4月28日 14:00-	ウィズセンター	会員10名			平成20年度の「日韓青年親善交流」及び「世界青年の船」の事業報告会。また平成21年度の面接試験に向け、参加者に対し模擬面接会を設けた。
他団体へ交流事業の参加、協力	宮崎県青年国際交流機構	6月27日(土)～28日(日)	宮崎市民プラザ	1名			12月に開催される全国大会のPRと他ブロック会員との交流を目的に広島県IYEOから1名派遣した。
他団体へ交流事業の参加、協力	広島県庁	7月20日(月)～29日(水)	広島県内各地	1名			広島県庁主催の「国際交流コース in HIROSHIMA」に広島県IYEOを代表して会長が主催者の一員として事前の会議、実際のプログラムなどへ参加し、地元自治体である広島県庁、地域の青少年団体である広島大学地域連携センターなどと一緒に活動してネットワークを広げることが出来た。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府政策統括官(共生社会政策担当) 日本青年国際交流機構 (財)青少年国際交流推進センター 広島県青年国際交流機構	12月5日(土)～6日(日)	安芸グランドホテル	会員:269名 (他都道府県会員含む) 一般:10名		10人	全国大会を行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	内閣府	2月19日～24日	ふじ丸	1名			第22回「世界青年の船」へ、事後活動紹介のためIYEOから高下さんに参加要請があった。
参加希望者への支援	山口県青年国際交流機構	9月12日(土)	山口市	9名			「世界青年の船」事業参加青年(2名)への研修およびアドバイスをを行った。
独自の国際交流事業	柳井国際交流機構 山口IYEO柳井支部	7月30日(木)～ 8月3日(月)	柳井市	140名(9名)		9人	ホームステイ、企業見学、観光地見学、体験学習、交流会など、日韓親善協会、ロータリークラブなどと共催で行なった。
独自の国際交流事業	山口県	9月29日(火)	山口市	児童			青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。
独自の国際交流事業	山口県青年国際交流機構	平成22年1月14日(木)	山口市	会員3名、生徒60名		60人	青少年の国際協力活動への意識啓発や理解促進を図ることを目的にしている。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	山口県青年国際交流機構	10月29日(木) ～11月1日(日)	山口市	10名			第36回「東南アジア青年の船」事業受入
参加希望者への支援	徳島県青年国際交流機構	8月16日(土) 13:00-17:00	徳島県青少年活動支援センター	会員 5名 参加青年5名			平成21年度「東南アジア青年の船」事業参加青年が、船内活動の一環として阿波おどりを披露するため、参加青年へ阿波おどりと着付けの指導を行った。
他団体の交流事業への参加、協力	小松島市	平成21年 7月19日(日) 16:30～	小松島市金長だめ公園	会員 1名 一般 約700名(うち外国人約50名)	50人		小松島市の夏の最大イベント「港まつり」の中で、「外国人阿波おどりコンテスト」開催のスタッフとして、コンテストの円滑な運営の手伝いをした。
他団体の交流事業への参加、協力	徳島県庁男女参画青少年課	11月11日(水) 14:00-18:00	フレアとくしま	会員 4名 県担当者約10名 一般 約110名		110人	徳島県内で活躍している様々な女性活動団体が集まり、情報提供や意見交換を行うことにより、一層の活動の活性化と新たな連携を図ることを目的とした事業です。
他団体の交流事業への参加、協力	小松島市	平成22年 2月7日(日) 10:30-20:00	小松島市ミカホール				小松島市国際交流協会設立20周年記念イベントへ徳島県IYEOが協賛しているため、手伝いを行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	徳島県青年国際交流機構	平成22年 1月14日(木) ～1月17日(日)	県内各地	会員:13名 県担当者:2名 一般:25名		25人	「世界青年の船事業」地方プログラム受入れを行い、23名(エジプト2名、エクアドル11名)の外国青年の徳島でのプログラムをアレンジした。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	徳島県青年国際交流機構	平成22年 1月24日(日) 10:00-17:00	徳島県鳴門市	会員:10名 県外IYEO会員:3名 一般:26名(うち外国人:9名)	9人	17人	在県外国人との親睦を目的として、社焼焼きパーティーを開催した。今回は県外IYEOからも多数会員が参加があった。外国人だけでなく県外IYEO会員とも交流ができ参加者に好評であった。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ後の反省会	徳島県青年国際交流機構	平成22年 2月6日(土) 17:00-21:00	パークウエストンホテル	会員 11名 一般2名		2人	平成21年度内閣府青年国際交流事業の一環である「世界青年の船」地方受入れプログラム実施後の反省会を行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	徳島県青年国際交流機構	平成22年 2月24日(水)	県下全域				「平成22年度内閣府青年国際交流事業」の募集及び募集説明会についての情報を徳島新聞に掲載した。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	徳島県青年国際交流機構	平成22年 2月27日(土) 13:00-17:00	(財)徳島県国際交流協会				「平成22年度内閣府青年国際交流事業」及び募集説明会のPRのための内閣府青年国際交流事業ハルル展を開催した。
内閣府青年国際交流事業地方プログラム受け入れ	愛媛県青年国際交流機構	10月27～11月1日	県内各地	東亜船参加者29名 IYEO実行委員8名 ローカルコース21名 IYEO会員6名		21人	「東南アジア青年の船」地方プログラム受入れを行った。しなまみ海道歌集、ホームステイ、歓迎会、表敬訪問など
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	愛媛県青年国際交流機構	平成22年 2月15日以降	愛媛大学 コムズ エピック 他				学校施設や県内の国際交流施設を対象に、次年度募集のポスターの掲示とパンフレットの配布。募集説明会の案内。ターニングポイントⅢを図書館などに寄贈した。
内閣府青年国際交流事業地方プログラム受け入れ	愛媛県青年国際交流機構	7月～9月	コムズ 他				「東南アジア青年の船」の実行委員会・事前視察等をおこなった。
内閣府青年国際交流事業地方プログラム受け入れ	高知県青年国際交流機構	10月27日～11月1日	県内各地	東亜船参加者29名 実行委員10名			「東南アジア青年の船」地方プログラム受け入れを行った。学校訪問、マイ箸づくり体験、植物園散策、ホームステイ、歓迎会、表敬訪問など
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	高知県国際交流協会	10月17～18日	高知市常盤町アーケード、ひろめ市場	会員12名			県の国際交流協会のイベントに参加し、ザンパの子どもたちへの支援を目的としてフリーマーケットを開催するとともに、支援を行っている会員の講演会を開き広報活動を行った。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	高知県青年国際交流機構	平成22年 1月25日	南国市立内府小学校	会員2名 小学生約40名		40人	小学校でのキャリア教育の取り組みとして、国際交流事業の報告や紹介を行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	東南アジア青年の船外参加青年受け入れ実行委員会(事務局 北九州市教育委員会)	10月29日(木) ～11月1日(日)	門司港プリリアンサ「グレンジャーノット」、ホテルクラウンパレス小倉、環境ミュージアム、障害者スポーツセンター、北九州市庁舎	(実行委員会) 会員5名、一般2名、市役所職員2名(当日スタッフ)、会員5名、一般10名、市役所職員9名(ホストファミリー)、一般36名		48人	7月より実行委員会を立ち上げ、月に一回北九州市庁舎で会議を行った。参加青年26名を受入、環境都市北九州市らと環境ミュージアム、車椅子バスケットを体験し、障害者スポーツセンターへ訪問した。北九州市長を表敬訪問したのち、ホストファミリーに引き渡した。初めの訪問国であったため参加青年たちは少し緊張していたが、北九州市を訪問し、存分に楽しんでもらい、グループの団結も一層深まったと思う。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	福岡県青年国際交流機構	7月14日(火) ～7月18日(土)	県庁表敬訪問、チサンホテル、九州国立博物館、大宰府天満宮、九州大学伊都キャンパス、吉塚合同庁舎会議室、箱崎自由学舎スズべらんさ、東長寺、鶴田神社、博多町ふるさと館、Ecoパーク、グローバルアリーナ	(実行委員会) 委員5名 一般 5名(当日スタッフ) 会員 3名 コーディネーター 一般3名 サブコーディネーター 一般3名 LY 一般15名 通訳 一般2名 県庁職員 2名 計38名		28人	県庁表敬訪問、ホテルで歓迎会。2日目は九州国立博物館、大宰府を見学。午後より九州大学の水を水素エネルギーに替える施設を訪問。3日目は午前にもLYと合同しアイスブレーキングを行ったのち、教育、文化・環境の各コースに分かれて、各地を訪問。宿泊先のグローバルアリーナにてLYとPYとの交流会を行った。4日目は終日、ディスカッションを行い、最終日に各コースのディスカッション結果を発表した。
他団体へ交流事業の参加、協力	佐賀県国際交流協会	9月13日	アバンセ	会員10名 (スタッフ6名、合格者2名含む) 一般多数		多数	オーストラリア既参加青年からのアポリジナルアート体験は大好評だった。また、H18年度「東南アジア青年の船」事業佐賀県受入れ時の様子を写真パネルに作り展示。グローバルフォトコンテスト写真の展示。内閣府事業広報、IYEO広報資料、坂本達氏講演会のチラシ配布。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	佐賀県青年国際交流機構	12月28日	伊万里市役所	会員2名			地方出身OGによる、サポートの尽力があり、市長表敬訪問。この日様子は、いまりケーブルテレビ放映(およびネット動画)された。毎日新聞掲載。
内閣府青年国際交流事業及びIYEOの広報活動	佐賀県青年国際交流機構	平成22年 3月	佐賀県庁	会員6名			21年度5名の参加者があった佐賀県IYEOにとって、弾みを持たせた1時期であり、また22年度募集期間中における知事表敬のメディア効果も利用し、広報及び活動の活性化を目指す。

内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	熊本県青年国際交流機構	10月1日(木) ～11月1日(日)	熊本市国際交流会館・チサンホテル熊本・熊本県立大学	(実行委員会)会員8名、一般3名、市役所職員2名、(当日スタッフ)会員1名、(ホストファミリー)会員3家庭、一般9家庭	多数	7月より実行委員会を立ち上げ、月に一回会議を行った。今回は、会員に加え、交流プログラムで協力頂いた熊本県立大学の学生も実行委員に加わった。熊本県副知事の表敬訪問、歓迎しセッション、交流プログラム、ホームステイと、各自役割をこなし、無事にプログラムを終えた。今回は残念ながらインフルエンザにより日本人参加青年が参加できず、外国人参加青年24名の受入れとなった。事業の中で、一番初めとなる地方プログラム・ホームステイということもあり、緊張気味だった青年もしっかり熊本を満喫してくれたようで、青年同士に限らず、ホストファミリーや実行委員との距離も縮まった。	
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入れ	熊本県青年国際交流機構	10月17日(土) 10:00-11:30	熊本市国際交流会館	(実行委員会)会員5名、一般3名、市役所職員2名	3人	ホストファミリー説明会、プログラムの概要説明、及びホームステイ中の留意点などのアドバイスを行った。協力頂いたご家族同士でも情報交換をすることもあり、充実した説明会となった。	
独自の交流事業	大分県青年国際交流機構	7月7日 (実施12月22日～12月26日)	大分市コンパルホール	会員10名 一般5名	5人	平成13年度からの継続事業。支援物資として足踏みミシン等を現地施設に送り、子女の自立を支援している。本年度はマンマーマーを中心に、支援先施設の訪問及び、大分県の青少年を引率する可能性について確認することを目的に実施した。	
独自の交流事業	大分県青年国際交流機構	12月22日～12月26日	ミャンマー	会員4名、一般8名	8人	支援物資として足踏みミシン46台、衣類・文具など段ボール168箱をコンテナにより現地施設に送り、子女の自立を支援し、これを現地で確認した。現地日本大使館にも立ち寄り、活動報告を行い高い評価を得た。	
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受入	内閣府	9月9日	大分市コンパルホール	会員10名 大分県2名			
独自の交流事業	宮崎県青年国際交流機構	6月27日(土) 14:30-21:00 6月28日(日) 9:00-12:00	宮崎市民プラザほか	会員100名 一般参加50名	50人	6月27日(土)に九州ブロック大会の開会式、講演会、分科会、懇親会を行った。 6月28日(日)に報告会、閉会式を行った。 講師の坂本 達さんの話が心に残ったとの感想が多かった。 15名の在住外国人との交流を深めた。	
独自の交流事業	宮崎県青年国際交流機構	10月3日(土) 10:00-15:00	リサイクル工房	会員3名 参加者25名 外国人4名	4人	18人	平成20年度青年社会活動コーディネーター育成プログラムがきっかけとなって障害者と外国人の交流会を実施した。 外国人と障害者のグループディスカッション、牛乳パックを使ったはがき作りをとおして、国際理解や国際交流を深めた。また、タンザニアダンス、台湾のダンス、コロンビアのダンス、ドイツの歌をみんなで楽しんだ。
独自の交流事業	宮崎県青年国際交流機構	平成22年3月13日(土) 14:00-16:00	宮崎市民プラザ	参加者10名 会員5名	10人	平成22年度内閣府事業の紹介を行った。 ドイツ、タンザニアについての理解を深めた。 参加者と外国人ゲストとの交流を深めた。	
独自の交流事業	宮崎県青年国際交流機構	平成22年3月13日(土) 18:00-20:00	花月亭	外国人3名 会員5名	3人	外国人(ドイツ、タンザニア、台湾)との交流を深めた。 会員の独自の活動の紹介を行った。	
他団体の交流事業への参加、協力	宮崎県青少年団体連絡協議会	平成22年2月14日(日) 10:00-16:00	東大宮地区コミュニティセンター	参加者52名(子ども) ボランティア15名(大人) 外国人8名、会員2名	8人	67人	子ども達に外国文化に接する機会を提供した。 宮崎県内14の青少年団体と共同で企画・実施した。 ドイツ、タンザニア、コロンビア、インドネシアについての理解を深めた。 ・参加者(子ども達)と外国人ゲストとの交流を深めた。
交流事業の参加・協力	内閣府、沖縄県青年国際交流機構	8月4日～24日	沖縄本島	一般75名 (うち外国人30名)	30人	45人	アジア青年の家事業(Asian Youth Exchange Program)に、現地コーディネーターという立場で参加。プログラム運営や参加者の生活面のサポート等を行った。
内閣府青年国際交流事業の地方プログラム受け入れ	沖縄県青年国際交流機構	平成22年3月2日	県民ひろば(沖縄県庁前)	会員、第22回「世界青年の船」参加青年、一般ボランティア			第22回世界青年の船、来沖。県民ひろばにて参加青年による歌や踊りの披露。また、参加青年へ首里城や平和祈念公園、国際通りの案内を会員及び国際交流に興味のある一般ボランティアと共に進行。

394人 6,849人

※この他に、毎年、全国大会やブロック大会に会員及び一般の方が参加している。  
(会員:720名程度、一般:450名程度、詳細は確認中)